

# 山口県の 中小企業

2012 Dec

# 12

Vol.656

組合活性化情報 毎月1日発行  
平成24年12月1日



2012年 組合トップセミナー



## 特集

## 組合 絆 ルネサンス 日本は一つ 第64回中小企業団体全国大会開催

■—いま、これを伝えたい!—

山口県自動車車体整備協同組合

■2012年 組合トップセミナー

■平成24年版 中小企業組合白書の概要

■県内の元気のある中小企業紹介⑩ 株式会社原田食品

■平成24年度移動中央会事業『地域情報交換会議』のご案内

■組合等ニュース

■景況動向

■「みんなのビジネスオンライン」活用セミナー

■県選奨・現代の名工 おめでとうございます

■やまぐち総合ビジネスメッセ

■山口県特定(産業別)最低賃金の改正について



研修風景

「いま、これを伝えたい！」  
フェイスブックを立ち上げ、  
業界の活性化を図る

山口県自動車車体整備協同組合

【顧客と社会の信頼に込める】

当組合は、県内の自動車車体整備（钣金・塗装）などを営む事業者が、技術の向上と業界の健全な発展並びに社会的地位の向上を目的に、組合員数100名で、昭和58年2月に設立をされました。来々2月で、創立30周年の節目を迎える歴史ある組合です。

組合では、「自動車車体整備事業

者憲章」を定め、組合員企業は、車

体整備事業の公共性と社会的責任の重大性を認識し、業界の秩序と倫理の確立を目指しています。また、顧客及び社会の信頼に込め、その責任を遂行することを常に念頭において整備事業に取り組んでいます。

【情報発信ツールとしてフェイスブックを立ち上げる】

当組合では、写真や動画などをふんだんに使い、Twitter以上に顧客と深いコミュニケーションが取れ、口コミを誘発させるなどの効果も期待できる「フェイスブック」を立ち上げて、業界の活性化を図ってはどうかとの意見が出され、中央会の支援のもとに検討を重ね、10月31日に完成し、11月からスタートの運びとなりました。組合や組合員企業からの情報発信するこの取り組みが、山口県自動車車体整備協同組合に対する理解や信頼をより高め、活性化することが期待されています。

組合では、「多くのみなさんにフェ



フェイスブックページ



組合キャラクター「メイクちゃん」

イスブックにアクセスして、『いいね』ボタンを押して下さい。』と呼びかけています。

【車両の安全確保に精進】

近年、環境問題、燃費向上や安全性向上等の社会的要請に込め、軽量かつ強度の高い車体の使用や多様な機能付きの自動車が増えたことから、修理の技術等が日進月歩の状態になっています。そのため、積極的に新技術習得等の講習会を開催し、従業員等の資質向上を目指しています。昨年度は、ブレーキとアクセルの踏み間違い暴走防止装置「SDAS-II」

の取り付け講習会を開催しました。

平成10年には、組合青年部を設置し、現在、17名のメンバーで月1回の役員会の開催や研修旅行の実施等精力的に活動を行い、山口県中央会青年部が開催するセミナー等にも積極的に参加するなど若手経営者の資質向上にも努めています。

組合では、「車両の安全確保」を最大の目標として、事故破損車両の修理後の安全性を担保するため、日々精進しています。

今後とも、多くのドライバーにとって必要不可欠な存在として、ますます充実発展していくことが期待されています。

山口県自動車車体整備協同組合

【組合概要】

- 代表者：福本 昇
- 業 種：自動車車体整備業
- 組合住所：山口市吉敷下東1丁目14-1
- ☎ 083-923-0955 FAX 083-901-0128

【組合の主な活動】

共同購買事業、調査・研究事業、教育情報提供事業、福利厚生事業等

# 組合 絆 ルネサンス 日本は一つ

## 第64回中小企業団体全国大会開催



第64回中小企業団体全国大会が、10月25日(木)に宮崎市の「フェニックス・シーガイア・リゾート『シーガイアコンベンションセンター』」において、「組合 絆 ルネサンス 日本は一つ」をキャッチフレーズに、山口県をはじめとする全国の中小企業団体の代表者ら約2,500人が参集して開催されました。

鶴田全国中央会会長の開会挨拶に続き、議長・副議長を選任し、「地域産業の再生・発展への支援の強化」、「東日本大震災からの復旧・復興の加速化」並びに「組合等連携組織対策の強化」を具体化するための中小企業対策に関する12項目について決議しました。

また、決議案に関連して、群馬県中央会会長より、「国内産業をしっかりと維持・強化する必要がある」とした意見発表が行われ、満場の賛同を得て決議案は採択されました。

さらに、本大会の意義を内外に表明するため、宮崎県中央会青年部会長が、地域社会の絆を再生し、持てる力を組織に結集して、豊かな日本が再生されるよう全力を尽くすことを誓う、とした『大会宣言』を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択されました。

これと併せて、本大会では、優良組合(34組合)、組合功労者(70名)、中央会優秀専従者(39名)の表彰が行われ、本県からは、優良組合として、山口県室内装飾事業協同組合(古野訓章理事長)、組合功労者として、山野信夫氏(防府商工団地協同組合理事長、当中央会監事)、中央会優秀専従者として、水野隆正指導員が表彰されました。

なお、次期全国大会は、平成25年10月24日(木)、滋賀県において開催することを決定しました。

### 第64回中小企業団体全国大会スローガン

1. 地域産業の再生・発展への支援の確実な実施
2. 東日本大震災からの復旧・復興の加速化
3. 組合等連携組織対策の拡充強化
4. 万全な資金繰り対策の継続
5. 消費税の確実な転嫁実現と事業承継税制の抜本的見直し
6. 中小企業の実態に十分配慮した雇用対策の推進



優良組合

山口県室内装飾事業協同組合  
横田 晃一 専務理事



組合功労者

防府商工団地協同組合  
山野 信夫 理事長

# 2012年組合トップセミナーを盛大に開催!!

本会では、11月26日(月)、山口市小郡「山口グランドホテル」で、「2012年組合トップセミナー」を開催し、会員組合の理事長や組合員企業経営者など約100名が参加されました。

開会にあたって、本会の伊藤会長より、「中央会としては、如何にすれば『中小企業や組合に発展』を図っていくのか、また、施策や事業をより効果的に実施できるのかが問われているものと強く認識しております。このため、平成23年度から3年



間の『新アクションプラン』を策定し、『元気で頼りになる中央会』を目標として、役員が一丸となって、会員の皆様に寄り添う支援を心がけているところであります。本日のセミナーは、井上善海先生から、連携

による活性化や成功・失敗の要因等についてお話をいただき、皆様の今後の組合運営や企業経営に役立つヒントが頂けるものと大いに期待しております。」との挨拶を行いました。

続いて、広島大学大学院教授であり、中国地域ニュービジネス協議会が実施している「ニュービジネス大賞」の審査会の会長でもある井上善海氏より、「戦略的連携による中小企業の成長」と題して、1時間半にわたり講演をいただきました。

この中で、「戦力的連携とは、①企業の独立性を維持したまま、②ある特定の経営資源を獲得するため、③緩やかで柔軟な組織間関係を結ぶことである。」と前置きをされ、戦略的な連携から生み出されるメリットについて、以下の3点を挙げられました。一つは、複数の企業がまとまって研究開発等行うことで、活動

効率や学習効果の習熟度の向上が得られること、二つ目は、他社の有用な経営資源や能力が利用できること、三つ目は、リスクが分散できること。

そして、中小企業の戦略的連携に最適な組織として、「事業協同組合」を紹介されました。また、中国地域ニュービジネス大賞受賞企業の事例を紹介され、最後に、「連携の成功要因」として、『相互信頼』の度合が高いこと、『経営者のサポート』の度合が高いこと、『成果への期待』の度合が高いこと、『目標の明確』の度合が高いこと、『連携相手との協調』の度合が高いこと。」と指摘され講演を締めくくられました。

セミナー終了後は、井上教授にもご参加いただき、交流会を開催しました。本会岡本博之副会長(下関鋳造鉄工協同組合理事長)の開会挨拶に続いて、山口県商工労働部半田健二部長より「県としましては、山本知事が提唱しております『5つの全力』の実現に全力で取り組んでおります。その中にある『産業力・観光力の増強』として、中小企業等への



交流会で挨拶をされる半田県商工労働部長

支援に今後とも積極的に取り組んでまいります。」との力強いお言葉をいただきました。

引き続き、地方独立行政法人山口県産業技術センター山田隆裕理事長のご発声により乾杯が執り行われ、交流会では、井上教授や半田部長をはじめ、今回はじめて交流会に参加していただいた関係機関の方々との活発な情報交換や意見交換でビジネスチャンスの場としても大いに盛り上がりました。

中締めは、当会末永興一理事(下関南風泊水産団地協同組合理事長)が「下関といえばふく、幸福を呼ぶことからいつも締めは三本締め」というご紹介があり、威勢良く「三本締め」の音頭を取られ、盛会のうち

に終了となりました。今回のセミナーでは、参加者の方々のアンケートでも「大変に参考になった」とのご回答を多くの方からいただきました。

# 平成24年版

## 中小企業組合白書の概要

### 最近の中小企業組合等

#### 連携組織の動向

#### 1. 中小企業組合の概況

##### 組合設立の動向

中小企業組合は、昭和50年代には年間1,000組合を超える新規設立があった。60年代及び平成元年以降は年間800〜900組合台で推移（平成4年度は1,003組合）しており、10年度に792組合と800組合を割ったものの、11年度からは再び800組合台で推移していた。しかし、20年度以降は20年度528組合、21年度369組合、22年度303組合、23年度333組合となっており、5年ぶりに前年度比増加に転じた。

新設組合を組合の種類別にみると、平成13年度までは、事業協同組合が9割近くを占めていたが、近年は、企業組合の設立が多くなり、12年度、13年度には新設組合の1割近くを占め、15年度からは2割台となった。その後、20年度9・3%、21年度17・3%、22年度14・2%、23年度13・2%となっている。

また、新設組合を業種別にみると、

サービス業の82組合が最も多く、以下、異業種64組合、建設業52組合、製造業44組合と続いている。近年は、新規設立数に占める異業種、サービス業の割合が高くなっている。

#### 2. 組合青年部の動向

「組合青年部」は中小企業組合を母体として、概ね45才以下の若手経営者や企業の後継者等により組織されている。組合青年部のほとんどは独自の会則や事業予算を設け、勉強会・講習会事業、見学・視察事業、社会奉仕事業、親睦・レクリエーション事業、調査研究事業、異業種交流事業、イベント開催事業、親組合事業への協力、収益事業、行政等との懇談と組合青年部は実に多様な活動を行っている。

「青年中央会」はすべての都道府県において設立されており、東北・北海道、関東甲信越静、東海・北陸・近畿、中国、四国、九州・沖縄の7つのブロック単位に集約されているほか、全国組織として全国中小企業青年中央会（全国青年中央会）が設

立されている。いずれも、設立からおおむね30年、最も古い県では40年以上の歴史を持つている。

平成24年3月、創立20周年を迎えた全国中小企業青年中央会は、同年6月22日「自らの手で掴もう、創ろう日本の未来」をテーマに掲げ、東京都港区の明治記念館において、創立20周年記念式典を開催した。式典では、創立20周年を記念して優良組合青年部表彰が行われた。当日は全国から約330人が参加し活発な交流がなされた。

全国青年中央会の構成員数は平成24年度時点で約1,663組合青年部、約35,000人にのぼる。全国青年中央会では、国等との意見交換や各種中小企業施策に関する情報提供などをはじめ、地域単位では実施が難しい多くの事業を展開しており、全国レベルでの交流事業なども実施している。

青年中央会では、異業種の組合青年部の集合体であるという特徴を活かし、地域を基準に活動の範囲を段階的に区分することによって、その効果を最大限発揮している。

#### 3. 全国レディース中央会の動向

平成19年11月、宮城県仙台市において全国レディース中央会の創立総会が開催され、全国レベルでの交流

と連携を実現するとともに女性経営者等の研鑽を進め、レディース中央会の充実と活性化を図ること等を目的として、各府県単位のレディース中央会（中央会女性部・女性中央会）の全国組織が誕生した。

現在、レディース中央会（中央会女性部・女性中央会）は、平成23年7月に設立された秋田県を加え、計21府県において設立されている。

平成24年7月、東京都港区の東京都立産業貿易センター 浜松町館において、「平成24年度通常総会」並びに「組合女性部活性化研究会」を開催した。

さらに、今年度の主な実施事業の1つとして、全国中央会の協力により、基調講演・分科会等からなる「平成24年度レディース中央会全国フォーラム」を福島県会津若松市ノ牧温泉にて、11月14日に開催する予定としている。

今後は、女性部の未設置中央会や女性部未組織の組合等への積極的な働きかけや女性起業家の支援等にも取り組むとともに、女性経営者による活動の輪を拡大していく。

#### 4. 中小企業組合士の動向

中小企業組合士検定試験は、「組合制度」「組合運営」「組合会計」の3科目について実施されるが、昭和

49年度から平成23年度までの延べ受験者数は22,281人、合格者数は7,138人に達している。また、中小企業組合士の認定を受けている者は、平成24年6月1日現在、3,340人となっている（組合士の認定を更新しなかったものを除く）。

現在、中小企業組合士で構成される中小企業組合士協会が31の都道府県で設立されており、各協会では、講習会・研修会・見学会などを開催するとともに、各ブロック内での交流を図るなど、相互の研鑽に努めている。また、「1組合1組合士」を目標として、後進の育成にも取り組んでいる。昭和57年には、全国組織として「全国中小企業組合士協会連合会」が設立され、協会未設置県の設立促進や中小企業組合士の経験交流・情報の交換、機関紙の発行、メルマガジンの配信、さらには魅力ある組合士制度の確立に向け積極的な活動を展開している。

### 5. 農商工等連携の動向

中小企業者と農林漁業者とが連携して行う事業活動を支援するため、「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律（農商工等連携促進法）」が平成20年7月に施行された。

同法に基づき、中小企業者と農林

漁業者が共同で作成した農商工等連携の事業計画が認定されると、補助金、低利融資等の各種支援施策が利用できる。

事業計画には「農商工等連携事業計画」と「農商工等連携支援事業計画」の2種類あるが、平成24年10月15日時点で、「農商工等連携事業計画」521件、「農商工等連携支援事業計画」15件が認定されている。

案件には、中小企業組合が直接連携に参加しているものや、都道府県中央会が連携体に加わっていたり、サポート機関になっているものが含まれている。

### 6. 地域資源活用組合の動向

各地域の強みである農林水産品、鉱工業品及びその生産技術、観光資源の3類型からなる地域資源を活用して新商品の開発等の事業を行う中小企業を支援するため、「中小企業地域資源活用促進法」が平成19年6月に施行された。

同法に基づき、中小企業者が単独又は共同で、地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化を行う「地域産業資源活用事業計画」が認定されると、補助金、低利融資等の各種支援施策が利用できる。

平成24年10月15日時点で、1,046件の事業計画が認定されている

。このうち、中小企業組合の認定数は26件である。

湯田温泉旅館協同組合（山口県山口市・観光資源・平成19年10月）  
外25組合

### 7. 新連携・経営革新の動向

中小企業が事業の分野を異にする事業者（中小企業、大企業、個人、組合、研究機関、NPO等）と連携し、技術、マーケティング、商品化等の経営資源を有効に組み合わせ、新事業活動を行うことにより、新市場創出、製品・サービスの高付加価値化を目指す取り組み（「新連携」を支援するため、「中小企業の新事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）」が平成17年4月に施行された。

同法に基づき、2以上の異分野の中小企業が連携し、新たな事業活動に取り組む「異分野連携新事業分野開拓計画」が認定されると、補助金、低利融資等の各種支援施策が利用できる。

平成24年10月15日時点で、818件の事業計画が認定されている。このうち組合がコアになっている案件は4件、組合が連携体に参加している（又は外部協力している）案件は27件、中央会が参画している（又は外部協力している）案件は39件である。

また、同法に基づき、中小企業者が経営の向上を目指して、①新商品の開発や生産、②商品の新たな生産や販売方法の導入、③新サービスの開発や提供、④サービスの新たな提供方法の導入その他新たな事業活動に取り組む場合にも、「経営革新計画」を作成し承認を受けると、低利融資や信用保証の特例等の各種支援施策が利用できる。

平成24年10月15日時点で、48,945件の事業計画が承認されており、このうち中小企業組合は196件である。

### 8. 地域商店街活性化法認定組合の動向

商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」という機能を発揮することにより、商店街の活性化を図ることを目的として「商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律（地域商店街活性化法）」が平成21年8月に施行された。

同法に基づき、商店街が地域住民の生活の利便を高める「商店街活性化事業計画」が認定されると、補助金、低利融資等の各種支援施策が利用できる。

平成24年10月15日時点で、102件の事業計画が認定されている。

## コンニャクの新たな価値創造に向けて

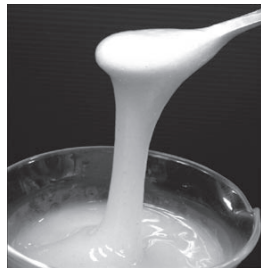
### 株式会社 原田食品

今回は、コンニャク製造技術を活用した新しい商品開発と販路拡大事業について「地域産業資源活用事業計画」の認定を受けた株式会社原田食品を紹介します。

同社は、大正13年創業のコンニャク製品の製造販売会社です。早くからコンニャク製造の機械化に取り組み、高品質でこだわりの製品製造に注力してきました。一方、コンニャク業界の環境は、若者の煮物離れ等による消費量の減少や国内産原料の価格変動などにより厳しさを増しています。

こうした中、同社では他社との差別化を図り、将来にわたって発展していくための新商品開発に積極的に取り組み、「マジックマンナペースト」を開発しました。この商品は、コンニャクの素となるグルコマンナンをペースト化したもので、冷温状態ではゾル状で加熱するとゲル化するという特徴を備えていて、加工食品に混合することで低カロリー化や食感の改良が期待できます。具体的には、ハンバーグや肉団子の肉の代わりとすることでカロリーカットが可能となり、食感も改良され、カロリーを気にする女性や糖尿病患者、柔らかさを求める高齢者等に訴求するための食品作りが可能となります。同社

はこの特徴を活かし、冷凍食品業界や病院給食業界等に向けて販路開拓を行っています。また、用途開拓を行う中で、生クリームとの混ぜ合わせも出来ることがわかり、スイーツ業界へのアプローチも開始しました。出来上がったコンニャクをどう使うかではなく、視点を変え、原料自体をペースト化することで今までなかった新たな分野を開拓することができた同社では、今後、国内のみならず海外も視野に入れて販路の拡大を積極的に進めていく予定です。



#### お問い合わせ先

株式会社原田食品

〒742-0413 山口県岩国市周東町上久原

190111 (周東工場)

☎ 0827-84-2300

FAX 0827-84-2255

URL <http://www.harada-foods.com/>

## 平成24年度移動中央会事業『地域情報交換会議』のご案内

- ◆目的 県内各地区の中小企業組合や連携組織の状況等を把握するとともに、組合運営、金融、相談及び行政、関係機関等の施策を紹介し、組合・組合員企業等の活性化に資する。
- ◆対象 県内各地区の中小企業組合及び中小企業者等
- ◆日時・場所

会場名	開催日	時間	場所
下関会場	1月15日(火)	12:00~15:00	「下関市勤労者総合福祉センター」第一会議室 下関市長府扇町4-10 ☎ 083-248-5510
宇部・小野田会場	1月16日(水)		「宇部マテ“フレッセラ”テニスコート」第1会議室 宇部市神原町一丁目7番45号 ☎ 0836-32-7759
萩・長門会場	1月17日(木)		「JOY201」2Fカルチャールーム 萩市東田町84番地2 TEL 0838-26-2201
周南・防府会場	1月22日(火)		「周南地域地場産業振興センター」会議室 周南市鼓海2丁目118番地の24 ☎ 0834-25-3210
岩国・柳井会場	1月24日(木)		「柳井中央公民館」視聴覚室 柳井市柳井3718番地 ☎ 0820-22-0680

- ◆開催内容 【ランチミーティング(12:15~12:55)】  
【地域情報交換会(13:00~15:00)】

- ◆お申し込み方法 中央会ホームページより「参加申込書」をダウンロードの上、FAX(083-925-1860)にて、平成25年1月8日(火)までにお申し込み下さい。
- ◆その他 個別相談(無料)は、事前に別紙申込書の記入の上、お申し込み下さい。相談時間の調整は事前にはしますが、相談者多数の場合はお待たせすることがございますのであらかじめご了承下さい。

### 山口県中小企業団体中央会

山口市中央4-5-16 山口県商工会館6階  
TEL 083-922-2606 FAX 083-925-1860

## 飲酒運転根絶集会

山口県飲食業生活衛生同業組合

10月29日(月)、山口県飲食業生活衛生同業組合(永田憲男理事長)は、「飲酒運転根絶総決起集会」を山口市民会館などで開催しました。同集会は、飲酒する機会が増える年末年始を前に、飲酒運転の撲滅を図ろうと、組合員約200人が参加しました。同組合の全県的な集会は初めて。集会では、飲酒運転根絶を誓う宣言や決議を行いました。集会後、参加者は、県警音楽隊を先頭に中心商店街を約1キロパレードし、「飲酒運転はさせないぞ」、「飲んだら乗るな」、「飲酒運転は根絶しよう」などとシュプレヒコールを上げました。



## うに供養祭

山口県うに協同組合



10月20日(土)、山口県うに協同組合(中嶋豪理事長)では、ウニに感謝し、来季の豊漁を願う「うに供養祭」を下関市阿弥陀寺町の赤間神宮で行いました。

下関は、瓶詰めウニの発祥地とされ、ウニの漁期(6〜9月ごろ)が終わったこの時期に毎年開いています。

拝殿であった神事には、関係者ら約100人が参加し、神前にウニ約500玉を並べ、神楽を奉納しました。その後、関門海峡の岸壁に移り、次々とウニを放流しました。

## 未来輝く やまぐちの技

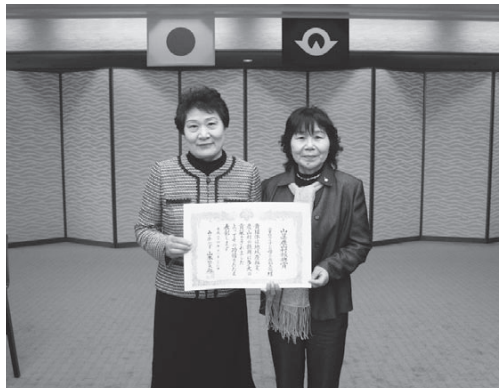
山口県工業協同組合

11月4日(日)、「ものづくりフェスタ2012」が、「魅せる、伝える。未来輝く やまぐちの技」をスローガンに、山口市の維新百年記念公園スポーツ文化センターで開催され、朝からたくさん家族連れで賑わいました。当日は、19の技能士会等による「山口県技能フェア」や「ものづくり学園祭」と銘打ったコーナーでは高校生や専門学校生が学習成果を実演・展示しました。このフェスタには、山口県瓦工事業協同組合のほか、山口県板硝子商工協同組合、山口県左官業協同組合、山口県畳工業組合のメンバーが楽しいものづくり体験を企画し、多くの子供達が体験しました。



## 県農林業関係表彰・認定される

企業組合うずしお母さんの店加工部



宇野素代子理事長(左)と中本敦子専務理事

11月26日(月)、山口県庁において優れた農林業経営の実践や後継者の育成、農山村地域づくりに向けた情熱のある取り組みなど、地域において創意・工夫と自助努力により優秀な実績を上げ、地域農林業の振興に顕著な実績を上げている団体・個人に対して表彰・認定を行う「山口県農林業関係表彰・認定式」が行われ、企業組合うずしお母さんの店加工部(宇野素代子理事長)が受賞しました。宇野理事長は、「これからも大畠地域の特産品を有効活用した特産品づくりに尽力したい。」と抱負を語られました。

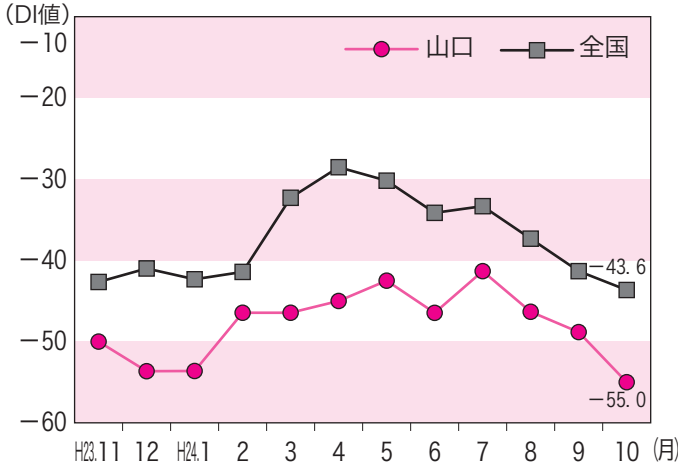


# 月次景況調査結果

平成24年10月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合  
 (表、グラフについては、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

## 業界の景況の推移 - 全国平均との比較 -

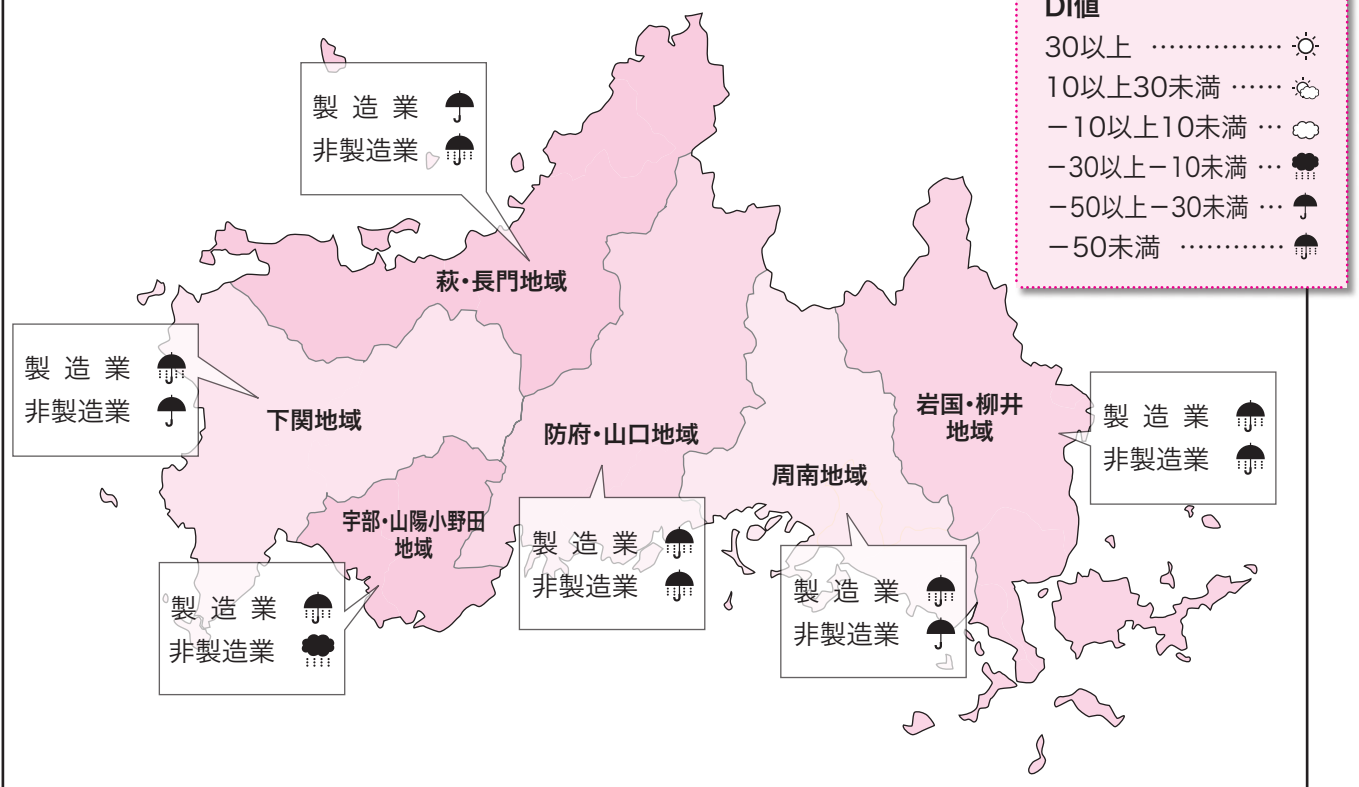


山口県内の「業界の景況(前年同月との比較)」は、悪いと感じている人が、10月は9月より増加している。これは、全国とほぼ同様の傾向にある。一般機器製造業では、取引先の生産調整などにより受注が減少し、その影響もあってか運輸業では物流量が減少している。商店街では新規郊外スーパーの影響が懸念される等の報告もあり、先行きに警戒を要する状況が続いている。

## 業種別の景況

	業種	10月期	対前月比
製造業	食料品	☂	↘
	繊維工業	☂	↘
	木材・木製品	☂	→
	印刷	☂	→
	窯業・土石製品	☂	→
	一般機器	☂	↘
	輸送機器	☂	→
非製造業	卸売業	☂	→
	小売業	☂	→
	商店街	☂	↘
	サービス業	☂	↘
	建設業	☂	↗
	運輸業	☂	↘

## 地域別の景況



情報連絡員報告

平成24年10月期

地区・業種を代表とする県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://www.axis.or.jp/>) の「月次景況調査」に掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不況のせいか、パン業界のどこの店も売上が少し下がっている模様。 (パン・菓子製造業)</li> <li>○ 10月は土日が昨年より2日少ないため、最終トータルで▲5%程度になる見込み。11/29・30全国農林水産物直売所サミットが萩市で開催される。 (水産食料品製造業)</li> </ul>
	繊維工業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受注状況は引き続き低調で厳しい。中国の状況は表面的には落ち着いてきた。 (下着類製造業)</li> <li>○ 国内外での販売の不活性が続いている。 (外衣・シャツ製造業)</li> </ul>
	木材・木製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋の需要が若干出ているが、依然として、厳しい状況が続いている。 (製材業・木製品製造業)</li> </ul>
	印刷	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙媒体の需要が有るうちに、新規マーケット開拓を模索しているが、結果も効果もなかなか現れない。当面は、アウトソーシング等を止め、更なる経費削減に努めるしかない。 (印刷)</li> </ul>
	窯業・土石製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対前年同月比は、骨材84%、路盤材97%、再生材110%、全体では89%。月毎にみれば、徐々に良くなってきているが、前年度に比べると出荷数量も激減している。 (碎石製造業)</li> </ul>
	一般機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受注量が前年同月比で半減。先の業況の見通しが立たない。 (一般機械器具製造業)</li> <li>○ 設備操業度は9月同様に上昇し年内の生産は確保出来ているが、価格、納期面では非常に厳しい状況にある。自動車関係の受注が先月同様減少しており、まだまだ先行き不透明な状況が続く。 (特殊産業用機械製造業)</li> </ul>
	輸送機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 車両部門は当分低成長が続く、作業高も落ち込み浮上のきっかけをつかめない。精密加工部門でも投資の停滞で下降局面に入っている。 (鉄道車両・同部品製造業)</li> </ul>
非 製 造 業	卸売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好転の兆しの無いままの状況で推移してきており、柳井地区の倒産企業の発生等により、向上意欲が望めないムードが続く。 (柳井市)</li> </ul>
	小売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 量販店の低価格競争が激化し、影響が少しずつ出ている。組合員の店は、その対抗策として取り扱い商品で差別化する方向で進めざるを得ない。又、エステティック等を導入したりする店が多くなっている。 (化粧品小売業)</li> </ul>
	商店街	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ドラッグ系スーパーが郊外大型店に隣接してオープンする。スーパーが全部で14店舗となる。商店街でイベントをいくらやっても一時凌ぎにしかならないのではないかと、時代の流れとはいえ、残念でならない。 (萩市)</li> </ul>
	サービス業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 後継者に関するアンケート調査で、県内整備業者の約半数で後継者が不在であることが判明。後継者による座談会の開催を検討する。 (自動車整備業)</li> <li>○ 厳しい状況の中、新しいビジネスモデルの構築をしているが、直ぐに結果が出ず、苦悩している。 (情報サービス業)</li> </ul>
	建設業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 稼働率が70%~90%近くに下がってきている。手持ちの工事が少なくなり、新たな工事も決まらない業者も出てきている。 (鉄骨工事業)</li> <li>○ 公共工事の発注は本格化した。受注した業者も受注できなかった業者も笑みが無い。採算を度外視した受注により、業界全体の体力が弱まっていく。 (土木工事業)</li> </ul>
運輸業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 油価格3.5円の値上げは中小運送業者の経営を一段と圧迫している。軽油引取税の何%かを少なくしてほしいとの声が聞かれる。</li> <li>○ 中国での日本製品ボイコットの影響による日本企業の中国での減産は想像を超えるものであった。自動車関連製品の取り扱いを主とする当組合にとっては、少なからず影響も出ている。それと同時に、今後、荷主からのコストの削減転嫁が危惧される。燃料価格は落ち着きを見せ下落傾向にある。 (一般貨物自動車運送業)</li> </ul>	

**卓越した技能者(現代の名工)受賞**  
おめでとうございます

株式会社黒磯製作所 (日立笠戸協同組合 組合員)  
橋本 進様

**県選奨受賞おめでとうございます**

【産業功労】  
企業組合うつつ工房 (理事長：中野千鶴子)

## 山口県の最低賃金が 改正されました

◆◆◆必ずチェック最低賃金!使用者も、労働者も◆◆◆

最低賃金名	最低賃金額 1時間	効力発生の 日
山口県最低賃金	690円	24.10.1

最低賃金名	最低賃金額 1時間	効力発生の 日
特定(産業別)最低賃金 鉄鋼業、非鉄金属製錬・精製業、非鉄金属・同合金圧延業、非鉄金属素形材製造業最低賃金	820円	24.12.15
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	748円	
輸送用機械器具製造業最低賃金	795円	
百貨店、総合スーパー最低賃金	710円	21.12.15

詳しいことは、厚生労働省山口労働局 賃金室 (083)995-0372又は最寄りの労働基準監督署におたずねください。

### 「みんなのビジネスオンライン」活用セミナー

みんなの  
ビジネス  
オンライン

簡単に作成できるだけではなく、  
集客につなげるためにはどうすれば良いの？

日 時：平成24年12月17日(月)  
14:00~16:30

場 所：白木屋グランドホテル  
(長門市深川湯本2245TEL0837-25-3311) <http://www.shirokiya-gh.co.jp/>

受講料：無料！ 先着30名

### みんなのビジネスオンライン活用術！

～「みんなのビジネス」による小さな会社の  
Web開設・運営・集客の秘訣!～

「みんなのビジネスオンライン」は

- ✓ 驚くほど簡単・無料で作成！
- ✓ 業種別の豊富なデザイン！
- ✓ オンラインカート付き！
- ✓ 独自ドメイン



「みんなのビジネス」パートナー・連携団体



よし！我が社もそろそろ  
スマホ対応のホームページを  
作ってみたいだろうか！

主催 山口県中小企業団体中央会・山口県中小企業団体中央会青年部

## 「やまぐち総合 ビジネスメッセ」に出展

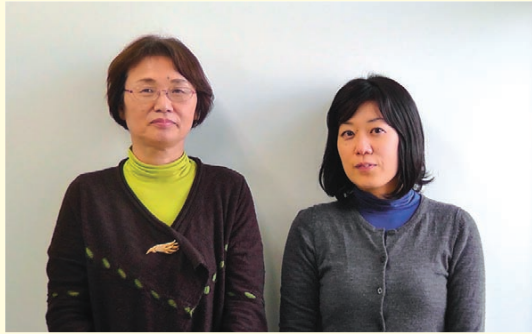
本会は、10月26日(金)、周南市の「麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター」にて開催された「やまぐち総合ビジネスメッセ」に農商工連携等人材育成フォローアップ事業の一環として本会関連の7ブースを出展しました。個別の企業では、企業組合みんと村、企業組合がね栗の里、有限会社しもせりんご村などが出展、本会ブースでは、本会が支援したイチオシ商品のPRのほか、組合制度・BCP(事業継続計画)の普及を行い、多数の方々が来場されました。



今月の

# さわやかレター

2012  
Dec



山口市建築協同組合  
吉村 綾子さん(左) 平川 礼子さん(右)

事務作業全般を担当されておられる吉村さんと平川さん。  
お二人は、偶然にも栄養士の資格を持っておられるとのこと。  
毎日のカロリー計算をするように、食べる話をしながら、組合帳簿の数字とにらめっこをされておられます。  
「この度、事務所も移転し、気持ちも新たに頑張っていきたいです。」とやさしい笑顔で応えていただきました。

表紙写真  
2012年 組合トップセミナー

編集・発行

 **山口県中小企業団体中央会**

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://www.axis.or.jp/>



中小企業の情報発信 連携支援サイト <http://son19.com>

商稼村塾やまぐち連携交流プラザ



印刷製本 株式会社 桜プリント社